

電子情報システム工学専攻科 技術者倫理 前期中間レポート

熊本高等専門学校 電子情報システム工学専攻科
1 年 8 番 國安 柁希

2025 年 5 月 27 日

1 課題内容

1. 「プロフェッショナル」を定義せよ

2. 「プロフェッショナル」の「誇り」を定義せよ

※ 1, 2 については教科書 2-3 の事例とプロフェッショナルについての解説を踏まえて記すこと。

3. 1 および 2 に則して、「プロフェッショナルの誇り」を示す事例を報告せよ

※技術・開発の事例（「人工物を介する」「チームワークである」こと）であり、エンジニア（設計に携わる技術者、作業員ではない）が中心人物であること。

※具体的であること

※出典を明記すること。聞き書きの場合は誰からのものであるかを明記すること。また参照可能な資料があれば参照先を示すこと。

※教科書で用いられていない事例である事。目次 xi ページに事例一覧がある。

2 課題結果

2.1 「プロフェッショナル」の定義

「プロフェッショナル」とは、高度な専門知識や技能を有し、自律性をもって社会的に重要な仕事を担う（医師、弁護士、技術者など）プロフェッション（職能集団）に属する人々を指す。また、英語の” profess”（公言する・宣誓する）という言葉に由来し、「神や社会に対して” 与えられた仕事をきちんとやり遂げます” と誓う」という意味合いも含まれる。

2.2 「プロフェッショナル」の「誇り」の定義

「プロフェッショナル」の「誇り」とは、高度な専門知識・技能への自負と質の維持・向上に対する自律的な努力、社会的責任と未来世代への配慮、倫理的ジレンマに直面した際にも最善を尽くす覚悟である。これは「他人より優れている」という自尊心ではなく、「プロとしてきちんと仕事をする」という内面から湧き上がる倫理観と使命感をもととし、専門性・自律性・社会的責任・倫理性を備える職能集団の一員としての自覚（職人気質）を表す。

2.3 「プロフェッショナルの誇り」を示す事例

今回は「プロフェッショナルの誇り」を疎かにしてしまったために、大きな事故につながった、1981 年 7 月 17 日にアメリカ・ミズーリ州カンザスシティで発生したハイアット リージェンシーホテルの歩道橋崩落事故の事例を取り上げる。

■事例の背景と設計変更 当初、ホテルのロビー上部に設置される空中通路は、天井から1本の長いロッドで2階と4階の通路を吊る構造で設計されていた。しかし、施工上の都合から、設計変更が行われ、2階と4階の通路をそれぞれ独立した歩道橋として接続する形に変更された。この変更により、4階通路の接続部には当初設計の2倍の荷重が集中することになった。

■設計審査と承認プロセス 設計変更は、素材提供会社が独自に行い、構造設計技術企業のエンジニアたちの監査を受けずに施工された。変更後の設計案は建築基準を満たしておらず、建築中にも再度の監査が行われなかった^[1]。

■事故の発生と被害 1981年7月17日夜、ホテルのアトリウムでダンスパーティが開催されていた際、多数の人々が歩道橋上に集まった。午後7時5分、2階の歩道橋の接続部が破断し、4階と2階の歩道橋が連続的に崩落した。この事故により114名が死亡、216名が負傷する惨事となった。事故調査の結果、設計変更による荷重集中が主原因であることが判明した。

■事故後の経過と責任 事故後、関係者に対する法的措置がとられ、設計を担当したエンジニアリング会社は重大な過失と職業上の不正行為で有罪となった。また、被害者や遺族に対しては、総額1億4千万ドル以上の賠償金が支払われた。^{[2],[3]}

■プロフェッショナルの誇りの欠如 この事例では、設計変更に伴うリスク評価や監査が適切に行われず、専門家としての倫理観や社会的責任が疎かにされた結果、重大な事故が発生した。具体的には、倫理的ジレンマ（工事の円滑な進行、十分な監査による安全性の確保）に直面した際に、「プロフェッショナル」として安全性を第一に考慮すべきだったが、工事の進行を優先し、専門家としての自律的な判断を放棄したことが大きな問題である。

参考文献

- [1] ホテルハイアットリージェンシーの空中通路設計ミス, 失敗知識データベース, <https://www.shippai.org/fkd/cf/CA0000203.html>, (参照日 2025 年 5 月 27 日)
- [2] Hyatt Regency Walkway Collapse, Online Ethics Center, <https://onlineethics.org/cases/hyatt-regency-walkway-collapse>, (参照日 2025 年 5 月 27 日)
- [3] ハイアットリージェンシー空中通路落下事故, Wikipedia, <https://w.wiki/EJWR> (参照日 2025 年 5 月 27 日)